

森林やまがた

No. 56

2001 11月



第11回山形県林業まつり 山形国際交流プラザ（ビッグウイング）：山形市



第53回全国植樹祭

感じていますか 森があるしあわせ

目次

第11回山形県林業まつり…… 1	最上の玄関は、もがみ杉の暖かさで… 7
「第11回林業まつり」盛大に 開催される…… 2	現地ルポ 好みの豆腐作りにひと役… 8
第48回山形県林材業 年次大会の開催…… 3	普及情報 無人ヘリコプターを使用した 松くい虫防除について…… 9
「みんなが森林の応援団」 各地で進む森づくり②…… 4	山形県の名水・湧水……10
林業女性が遠藤農林水産 副大臣と意見交換…… 5	山形県の古木・名木……10
みどりに学ぶ…… 6	山形県きのこ品評会の御案内…11
	木材市況……12

「第11回林業まつり」盛大に開催される

木とのふれあいを求めて親子で賑わう

「すてきだね 木とのふれあい 森との出会い」をテーマに、第11回山形県林業まつりが十月十三日・十四日の二日間、山形国際交流プラザ（ビッグウイング）で開催されました。

まつりの恒例となった、青空親子木工教室や、きのこ村、林業機械の試乗などと共に、今回は、村山・置賜・最上・庄内地域のそれぞれに伝わる郷土芸能を披露していただきました。

大黒舞や餅つき踊り・獅子踊り・神楽による舞や踊りがまつりを盛り上げ大勢の人が興味深く見ておりました。

今年もまた昨年に続き、間伐材製品展示コーナーを設け、間伐材製品の普及に努めました。

会場内には、例年以上に木製品の展示販売やきのこなどの林産物販売が多く、木工クラフト教室など、各地域の林業振興協議会を中心に楽しいイベントも多数あり、来場の方には、木とのふれあいを実感してもらったよい機会になりました。

テーマ館では、来年六月二日



鶴岡市 湯田川神楽

に開催される「第五十三回全国植樹祭」コーナーを設け全国植樹祭の普及啓発をいたしました。また、資源を循環的に利用する「木質バイオマス」コーナーには、木の皮を固形にした燃料を使用する「ペレットストーブ」を展示し、来場者は興味深く説明を聞いておりました。

まつり開会式は、あいにくの小雨模様となりましたが、まつりを楽しみに来た家族連れなど二日間で四万二千人の入場を数



青空親子木工教室

え、大盛況に終了しました。

〔県森林課〕



最上林業振興協議会 なめこつかみどり



PRコーナー 第53回全国植樹祭

第四十八回山形県林材業年次大会の開催

第四十八回山形県林材業年次大会が、十月十三日（土）十時三十分から、山形国際交流プラザ四階会場において盛大に開催されました。

大会は、「資源循環型社会を担う林業・木材産業の活性化を促進しよう」「豊かな暮らしを広げる県民参加の森づくりを進めよう」「第五十三回全国植樹祭を成功



大会風景

させよう」をスローガンに、林業・木材産業関係者二五〇名が参加し、当面する課題が提案され熱気あふれる大会となりました。

大会は、土田大会副会長（県森林組合連合会代表理事会長）の開会に始まり、冒頭、本県林材業の振興発展に貢献された加藤昭司氏（前山形県森林協会専務理事）に、松田堯大会会長から感謝状と記念品が贈呈されました。大会会長の挨拶の後、来賓として山形県知事代理山形県副知事金森義弘氏、農林水産副大臣代理林野庁森林整備部施工企画調整官島津義史氏、衆議院議員今田保典氏、山形県議会議長山科朝雄氏、山形市長代理山形市収入役佐藤忠明氏から祝辞をいただきました。



感謝状の贈呈

祝電披露のあと議事に入り、昨年の大会決議事項に対する結果報告が山口森林協会専務理事より報告され、続いて各団体より提出された議題を大高県森連代表理事専務から一括提案・説明されました。

このあと、土井飽海地方森林組合代表理事組合長、横山山形城南木材市場常務取締役、細矢大山建設KK主任から発言があり、次の八議題が満場一致で議決されました。

- 一、多様な機能の持続的発揮のための森林整備
- 二、林業・木材産業の健全な発展に向けた施策の展開
- 三、木材利用の促進
- 四、山村の活性化
- 五、構造改革特別枠の確保
- 六、森林文化の創造
- 七、森づくりのための県条例の制定
- 八、山形県単独事業の創設及び

継続と拡充
引き続き富樫大会副会長（山形県木材産業協同組合理事長）から大会決議が提案され万雷の拍手で採択されました。
最後に石澤大会副会長（山形地方森林組合代表理事組合長）の閉会により大会の幕を閉じました。なお決議事項については、国及び県等に対し要望活動を進めていく予定です。
〔山形県森林協会〕

「みんなが森林の応援団」 各地で進む森づくり②



一、森林利用講習会が開催される
(ふるさとの森林オーナー推進事業)

今年度は、山辺町畑谷地区と

寒河江市田代地区の二箇所です。森
林オーナー用の区画が整備され
ました。両地区とも、九月二十四

日に現地説明会を行い、今年も
新たなオーナーが誕生しました。

そのうち、十月六日山辺町畑
谷地区で(財)山形県林業公社が森
林利用の仕方についての講習会
を行いましたので、その模様を
紹介します。

最初に、各オーナーは自分の
区画を表示するための表示板を
設置し、オーナーの気分を実感
した後、キノコ栽培の講習会に
移りました。自分の手で植菌し
たクリタケのホダ木はオーナー

にプレゼントされ、今は仮伏せ
状態ですが春には自分の区画に
埋設することになっています。

最後に、ナラ等の種子を各区
画に播き、来春の発芽を期待し
て講習会を終了しました。

今後チェンソー等の林業
機械の利用講習会や、森づくり
の体験会等を開催する計画であ
り、各オーナーがこれらの体験
を通してそれぞれの森づくりに



家族で植菌体験

努め、より一層森林に対する理
解の高まりが期待されます。

〔村山総合支庁森林整備課〕
二、遊佐中学校林業実習

「インターンシップin遊佐」

十月十日～十二日の三日間鳥
海山麓にある町有林で、遊佐中学

校二年生の職場実習「インターン
シップin遊佐」が行われました。

この事業は、町内のいろいろ
な受け入れ事業体で実際の勤労
体験を行うもので、二百十名の
生徒のうち男子十九名が遊佐森
林組合の仕事を体験しました。
受け入れに当たっては、森林組
合と支庁の林業改良指導員が協
力して指導に当たりました。

一日目は、鎌や草刈機による
下刈を行いました。あいにく
の暴風雨に見舞われ、森林作業
の厳しさを身をもって感じ、風
に飛ばされないよう踏ん張りな
がらの作業でした。二日目は、



森林組合職員の指導を受け初めての伐木体験

選木から伐木造材というスギ林
での間伐の一連作業を行いました。
チェンソーは、初めての
体験だったので、指導する森林
組合の人を見つめる中学生達の
目は真剣で、普段の授業では見
られない表情だと先生を驚かせ
ました。最終日は、杭として使
う間伐材の皮むきと自動枝打ち
機を使った枝落としを行いました
が、三日間を通して、一歩間
違えば命に関わるというプロの
仕事ぶりに圧倒されながら、森
づくりの大切さを学んだ大変中
身の濃い職場実習となりました。
〔庄内総合支庁森林整備課〕

林業女性が遠藤農林水産副大臣と意見交換 —農林水産省男女共同参画懇談会—

去る九月五日（水）に農林水産省男女共同参画推進本部現地懇談会が、山形市の『文翔館』議場ホールで開催されました。

二十一世紀にふさわしい活力ある経済社会を実現するためには、女性と男性が共に貢献できる社会を構築していく必要があります。特に、農山漁村の女性は、子育てなどの役割を果たしているほか、農業就業人口の約六割を占めるなど重要な担い手となっております。

このため、農林水産省では、「男女共同参画推進本部」を設置し、農山漁村における男女共同参画の実現に向け、全国各地で農林水産業に従事する女性の方々との懇談会を実施していま



遠藤副大臣あいさつ

す。林業の懇談会については、県内の林業女性の活動が活発であることから、本県で開催することになりました。

農林水産省からは、遠藤武彦農林水産副大臣はじめ、加藤鐵夫林野庁長官、梅津進士農林水

産大臣官房審議官らが出席し、また、県からは、細野武司農林水産部長が出席しました。

提言された林業女性は、菊地喜恵子さん（大江町）、柿崎ヤス子さん（真室川町）、藤山梅子さん（真室川町）、栗田キエ子さん（金山町）、小山勝子さん（山形市）、奥山清子さん（白鷹町）の六名の方々です。

- 懇談は「農山漁村の男女共同参画社会の形成に向けて」をテーマに、
- (一) 女性が林業経営に参画していくための効果的な取組
 - (二) 仕事（林業）と家庭・育児の両立について
 - (三) 女性が社会的な役割を果たす上での効果的な取組
- について、懇談いただきました。出席者からは「男性と女性は異質であるが同等である、異質であるからこそ一緒に暮らして



林業女性の方々と懇談

楽しい」「女性の視点に立った林業経営の在り方があるのでは」「国や県の委員会等でもっと女性の登用を進めてほしい」など、積極的に意見が出されました。さらには、「森林組合を窓口とし、雇用対策として森林整備をやっ

てほしい」と、貴重な政策提言などもありました。

懇談会は、終始なごやかに進められ、女性ならではの華やかな雰囲気の中で終了しました。

〔県森林課〕



鉢植えを手伝う子供たち

「この花の名前は何だっけ」
本校で取り組んでいる花いっぱい運動。全校児童一人一鉢栽培形式で行っている。一人一人丹念に花を植えていく。特に、高学年児童は、土入れからよく手伝ってくれる。

活動の少年団報告



みどりに学ぶ

大石町立横山小学校

工藤正悦

と、花の名前も少しずつ覚えていく。

しばらくして、草花が伸び満開になった花を見る時、子どもたちの心も知らず知らずのうちに明るくなり、あいさつも元気になっていくような気がする。そして、花を毎日管理してくれる人へ思いをはせる児童も。

【交流研修会から】

毎年行われる、地区の交流研修会。いろいろな学校から友達が集まる。最初は緊張気味の子供たちも、たった一日で友達になる。

月山の散策も楽しみみのひとつ。暑い夏の時期に、大雪に耐えた



月山の木で遊ぶ子供たち

木々と遊んだり、冷たくおいしい月山の湧き水を飲む。木の役

割やぬくもりを感じながらまわるコースは、一夏の思い出になる。頭の片隅に「緑や山のイメージ」を留めさせてくれる。子供たちが大きくなった時、ふとこのことを思い出す時がくるのではないだろうか。森の案内人の皆さんに感謝。

【学校林観察整備】

大雪に見舞われた十三年。春

になっても山道の雪が解けない。ようやく車も通れるようになった頃目につくのは、折れた木々。学校林も例外ではなく、地域の方に協力していただき、折れた木や枝の伐採をしていただいた。折れた木を運ぶなどの細かい作業は、緑の少年団で行った。結構重い木もあった。子供の、「仕事の後のご飯はおいしいな」の言葉に、働いたあとの充実感を感じた。



学校林を整備し終えて

最上の玄関は、もがみ杉の暖かさで

新庄駅・ゆめりあ東口アーケード完成

「新庄駅・ゆめりあ」は、「人

新庄駅アーケード

が出会う。文化とふれあう。自然に抱かれる。もがみの新コミニケーション拠点」として、山形新幹線の新庄延伸にあわせ建設されました。

ゆめりあには、駅舎のほか花と緑の交流広場、もがみ物産館、体験館、映画館、会議室などの交流文化施設があり、県内外から多くの利用者があります。

また、パークアンドライド構想に基づき、利用者が気軽に駐車できる千台の広い駐車場があります。新庄市は日本有数の豪雪地であり、駐車場からの雪や雨よけが望まれています。



そこで、地域の特産である「もがみ杉」の良さを活かしたアーケードを建設しました。

このアーケード建設は、総事業費一億一千万円、補助率1/2で、

新庄市が事業実施主体となり、補助残については、新庄市と七町村で負担し、平成十二年度補正予算の地域材利用促進木造公共施設等整備事業でおこなわれました。

構造は、ユニバーサルデザインをとりいれ、車椅子が余裕をもってすれ違える幅二・五mを標準とし、一部展示効果を高めるギャラリィとして三・六m幅となっています。延長は三五四・九mで、地域材使用量は一四九・四mとなっています。景観に配慮した色彩とし、木材は茶系のタイン色、屋根はシルバーとしました。柱は円柱加工し、防腐剤DDACを加圧注入し、梁などほかの部材は無公害の保護着色剤を塗布しています。

木材の納入は、地元の最上広域森林組合が行い、一〇〇%も

がみ杉が使用されています。

今後このアーケードは、最上地域をおとづれる多くの人に、もがみ杉の良さをPRするとともに、来年度に金山町で開催される、全国植樹祭などで来県される方々を暖かく迎えるものとして期待されています。

〔県森林課〕



アーケード内

現地ルポ

好みの豆腐作りにひと役

木製豆腐キットを開発

このたび、間伐材等未利用材の利用拡大と地場産大豆の消費拡大をねらいとして、農業普及課と提携して木製豆腐キットを開発しました。

●木製豆腐キットの特徴

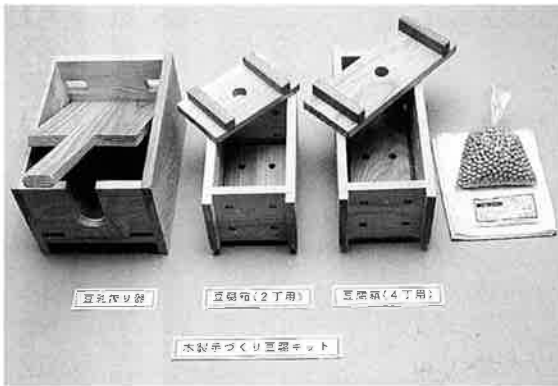
木製豆腐キットは呉汁（こじり）を豆乳とおからに分離するための「搾り器」と豆乳が固形化する時に使用する「豆腐箱」です。

「豆腐箱」は、家庭用の小型のもので、二丁用と四丁用の二種類があります。底と側面に穴を開けてあるのは勿論ですが、豆腐が取り出しやすく、また、使用後箱を洗ったり、乾燥しやすいように工夫し、底が抜けるようにしました。

また、「搾り器」は、熱い呉汁を搾るのは大変な作業であり、簡易

な器具があれば、なお豆腐作りは楽しくできる、との農業普及課の提案に基づいて、開発に取り組んだオリジナル製品です。

●キットを使い豆腐作り講習会を開催



開発した木製豆腐キット

「夏ばて予防に手づくり、冷や奴を！」と呼びかけ、まず、村山

総合支庁の職員等を対象に、早速豆腐作り講習会を開催しました。三十人程（うち子供が十二人）の参加者があり、農業普及課の職員の指導のもと熱心に自分流の豆腐作りに挑戦しました。楽しかった。またやってみよう。出来たときは感激した。初めてなので大変だったなど、いろいろな感想が聞かれましたが、おからとともに持ち帰って食べた豆腐の味は格別なことは勿論です。

その後、北庁舎でも開催する。一方、隔週日曜日に開催している「てっぽう町青空市場」でも実演を行いました。情報を知った仙台市民が駆けつけてくれるなど、嬉しい反響です。

●販売価格と販売元

新聞等の情報により、北海道から鹿児島まで全国各地から引き合いがあり、三種類で延べ七〇〇基を超える販売量となっています。



木製豆腐キットを使った、楽しい豆腐作り

販売価格は、大豆、布袋、布にがりセットに次の価格で販売しています。

- ・豆腐箱
 - 二丁用 二、三〇〇円
 - （搾り器とのセット価格 五、〇〇〇円）
 - 四丁用 二、六〇〇円
 - （搾り器とのセット価格 五、三〇〇円）
- ・豆乳搾り器 三、〇〇〇円
- ・販売元

- 西村山地方森林組合
- （〇二三七七四一三一八一）
- 山形地方森林組合
- （〇二二一六四四一〇〇五三）
- 〔村山総合支庁森林整備課〕

普及情報

無人ヘリコプターを使用した
松くい虫防除について

松くい虫被害を防除するためには、伐倒駆除と薬剤散布の併用が効果的ですが、庄内砂丘林ではこれまでの地上散布に加え、無人ヘリコプターによる薬剤散布を試験的に導入しました。

マツノマダラカミキリが次々と松を損傷すると、マツノザイセンチュウが損傷された部分から松に侵入していきます。ザイセンチュウに侵入された松の多くは、翌年春以降徐々に枯れていくため、赤い枯損木を駆除するだけでは被害を無くすことはできません。一方、薬剤散布を併用すると、松に飛来したマダラカミキリを殺虫することによって被害の拡大を防止することができます。

ところで、マダラカミキリが

損傷するのは松の梢端部なので、薬剤を確実に樹冠部にまで散布する必要があり、動力散布機等による地上からの散布では路網の整備等散布条件の制限があります。そこで、最近農業用に普

及しつある無人ヘリコプターを使って薬剤散布を試みました。無人ヘリコプターによる薬剤散布は、遊佐町が実施主体となり遊佐町大字吹浦と菅里の二十ヘクタールで、マダラカミキリの発生直前の六月十三日と発生最盛期の七月十六日の二回実施しました。

布当日は広報車で注意を呼びかけるとともに、立て看板や巡視員を配置して薬剤による事故等の防止に努めました。

無人ヘリコプターは、全長四メートル、二百五十ccのガソリンエンジンを搭載し、無線操縦で動きます。二十四リットルの薬剤を登載でき、一回の飛行で〇・八ヘクタールの散布ができます。

散布は、操縦者一名、誘導員ほか六名で、散布時間は二十ヘクタールで平均八・三時間でした。また、散布前後の農薬の大気中濃度を測定し、安全性を確認しました。無人ヘリコプターの最大の利点は、少量の薬剤で確実な散布ができること、区域外への薬剤の飛散等周辺環境への影響が少ないことの二点です。一方、操縦はヘリが見えるよ

うに高所作業者を使用するため一定間隔で車が入れる広場があること、複雑な地形でないこと等の条件がありますが、平成九年度に森林研究研修センターが実施した調査によると、酒田市・遊佐町の砂丘林五百九ヘクタールで散布が可能とされています。

今後は、散布の効果を継続的に観測するとともに、地上散布のための条件が未整備な区域において、無人ヘリコプターによる防除を検討していきます。

〔県森林課 林業専門技術員〕



無人ヘリコプターによる薬剤散布

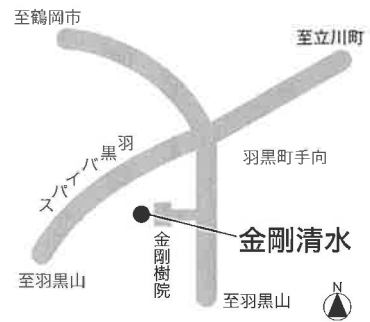


山形県の名水・湧水②⑥

金剛清水

羽黒町手向入江町

案内図



金剛樹院の境内にあり、井戸の深さ3 沓位、昔は水が溢れ出していた。今では水位は下がったがホームポンプで汲み出してみると約一時間はかかる。以前は水路を流れ下って各家庭でこの水を利用していた。

昔、人が死ぬときこの水が飲みたくなり死者の魂がこの水を汲みにきて、夜ポチャポチャと音がしたという。この音がするとまもなく亡くなったと言われている。(山形県森林協会)

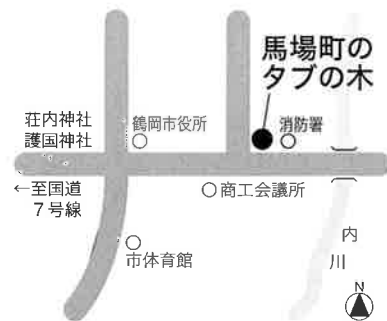


山形県の名木・古木③②

馬場町の タブの木

鶴岡市馬場町

案内図



タブの木はもともとわが国の暖地に産する植物であるが、暖流の影響で酒田市飛島をはじめ秋田県、青森県深浦まで北上分布している。このタブの木は、目通りのところはこぶ状にふくらんで周囲5 沓を越す。地上2 沓のところまで二幹に分かれ、樹高は15 沓に及ぶ。

この地は旧藩時代服部瀨兵衛という酒井藩家老の屋敷跡で、藩主が庄内入りの折、屋敷を賜った頃、他より移されたものといわれているが、樹齢およそ四百年と推定される。昭和39年3月17日山形県指定天然記念物になっている。(山形県森林協会)



山形県きのこ

品評会の御案内

今年で十五回目となる「きのこ品評会」が左記のとおり開催されますので、ご参加ください。

一、期日

審査会 十一月二十六日(月)

表彰式 十一月二十七日(火)

二、会場

ゆめりあ(新庄市)

三、出品品目

生しいたけ、なめこ、ひらたけ、えのきたけ、まいたけ、ぶなしみじ、エリンギ

四、表彰

農林水産大臣賞
林野庁長官賞、県知事賞等

五、問い合わせ先

最寄りの農協、森林組合、総合支庁・分庁舎森林整備課

六、その他

十一月二十七日(火) 正午より同会場で即売会を開催します。



秋の味覚は、やっぱり「きのこ」!

きのこは低カロリーで栄養豊富な健康食品です。

きのこパワーで健康生活! “毎日食べよう山形きのこ”

山形県きのこ振興会

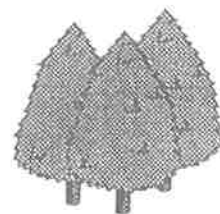
〒990-8570 山形市松波2-8-1 ☎023-630-2542

信頼の森林づくり

地域に根ざした豊かな森林をつくります
いろいろな森林体験ができます

財団法人 山形県林業公社

山形市緑町一丁目9番30号
TEL 023-623-3505



山形県緑化事業協同組合連合会



会長 齋藤 博
専務理事 富田 昌弘

〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内
TEL 023-632-5148
FAX 023-641-9288

21世紀の緑を美しく、
安らぎと輝きの森林と水を求めて



社団法人

山形県林業コンサルタント

理事長 菅原 六郎

山形市松栄一丁目5番41号 TEL (023)647-1800
FAX (023)647-1801



活かしてみましよう

冬のボーナスは
農林中金へ!

確定利回りの1年貯蓄



投資信託



どなたでもお気軽に

農林中央金庫山形事務所

〒990-0042 山形市七日町3-1-11
☎(023)641-6271



素材	樹材種	材長	品等	1m ³ 当り価格	前月比較		
	スギ小丸太	3.65~4.00m	込		11,800円	-600	
スギ中丸太	//	//		15,800円	-100		
スギ大丸太	//	//		18,900円	100		
材	米マツ中丸太	6.0m~	普通材	19,200円	-200		
	米マツ大丸太	//	//	23,200円	± 0		
	北洋アカマツ中丸太	3.8~	//	17,200円	600		
製品	樹材種	厚	幅	長	品等	1m ³ 当り価格	前月比較
	スギ柱	10.5cm	10.5cm	3.00m	特等	60,100円	-400
	米マツ柱	10.5cm	10.5cm	4.00m	//	56,400円	-1,100

木材市況

(十月一日現在)

印刷所

渡辺活版所 定価 一部二一〇円

森林やまがた11月号 平成13年11月1日発行 通巻第56号

編集 山形県森林協会 山形県

発行 山形県森林協会

〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内

TEL 023-631-6566 023-622-8823

FAX 023-631-6573

「ゆとり都」 森林課ホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/ns/shinrin/index.html>
第53回全国植樹祭ホームページ <http://www.shokujusai-yamagata.jp>